

# 心に残る文化財子供塾 島根県立益田養護学校高等部2・3年生

## 1. 活動の概要

7月12日(水)、島根県立益田養護学校高等部で『心に残る文化財子供塾』を開催しました。

はじめに、埋蔵文化財調査センターの職員が、原始古代のいろいろな「青銅鏡」の紹介と、その歴史について話しました。銅鏡が非常に貴重なもので、古くは、中国などから輸入したものばかりであったこと、弥生時代の墳墓や、古墳の副葬品として出土することが多く、その背景として、地方の首長と日本の王権、中国などとの政治的な関係があることなどについて解説しました。そして、青銅鏡の本来の製作方法について紹介したあと、実際の体験学習で使用する低融点金属素材や道具と本日の工程を説明しました。

実際の工程は、「鑄型の準備→低融点金属素材を熱して溶かす→鑄型に流し込む→気泡を放出するため、型枠をトントン揺らす→冷却して金属鏡を取り出す→バリを切り整形する→鏡面を耐水性の2種類の紙やすりで研磨する→光沢剤を摺りこんで鏡面を仕上げる」の順です。

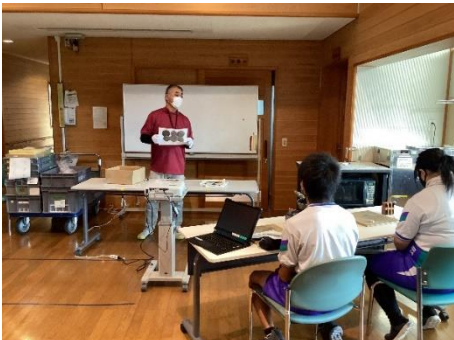
以上の工程を二人一組で協力して進めてもらいました。教職員の方も含め、皆さん事故もなく予定した時間内に作業を終了できました。

鏡作りを体験したうえで、益田市教育委員会文化財課の職員から市内出土の三角縁神獸鏡の紹介と養護学校が立地する横田地域を中心とする益田の歴史や古墳についての解説をしていただきました。最後に、益田市出土の三角縁神獸鏡と島根県立古代出雲博物館所蔵の青銅鏡のレプリカを比べて観察しました。体験後なので、より実感を持ってお話が聞けたのではないかと思います。

また、当センター収蔵品の縄文土器(飯南町出土)や弥生土器(松江市内出土)、須恵器(同)に実際に触れてもらいました。

## 2. 活動の様子

### 1)原子・古代の鏡の歴史、益田市の歴史や古墳について解説を聞く



埋蔵文化財調査センター職員による「鏡のはなし」



益田市職員による益田の歴史・古墳の解説

### 2)古代体験活動～金属鏡作り～



金属鏡の鑄型を輪ゴムでしっかりと固定しておき、低融点金属素材を熱して溶かす



溶けた金属素材を鑄型に流し込む(手前) 5分冷却後、鑄型から鏡を取り出し、形を整えて鏡面を研磨する(奥)



金属鏡のレプリカを観察する



埋蔵文化財調査センター所蔵の土器に触れる

### 3. 子ども塾を終えて

#### 1)生徒の皆さんから…

- ・鏡を作れたことに感動しました！磨くのが大変だったけどすごく勉強になりました！
- ・鏡を磨くのが大変でした。
- ・鏡をきれいに作ることができたので、いい体験ができました。
- ・今日は、鏡を作ってみて、作るのは難しかったけど、鏡を作るのは楽しかったです。
- ・鏡楽しかったです。
- ・ほかにもいろいろな形の鏡も作ってみたいと思いました。
- ・一番心に残ったことは、古墳のことです。
- ・一番心に残ったことは、益田にたくさん古墳があること。
- ・益田の古墳を実際に見てみたい。
- ・実際に古墳を見に行きたいです。
- ・もっといろいろと知りたいと思いました。

#### 2)担当の先生方から…

- ・益田市教育委員会から来ていただいて、じつは身近にある古墳について(講義や解説が)聞けたことはよかった。
- ・体験学習(のメニュー)があったことはよかった。
- ・講義の内容が分かりやすかったことはよかった。
- ・益田の歴史を知ることができ、鏡から分かることがたくさんあることを知った。
- ・昔の鏡を見て、文字(詩)や絵のことを教えていただき、新たな学びがありました。
- ・実際に鏡作りが体験できたことがよかった。
- ・生徒の集中が切れることなく完成させることができたことがよかった。
- ・いつもは気分が向きにくい生徒も内容がよく生き生き参加できていました。
- ・開催した教室に入れなかった生徒も別室で作業を喜んでやっていたのでよかった。
- ・身近な地域で発掘された遺物を見たり、触れたりすることができてとても有意義だった。
- ・実際の動画などがあると、よりリアルに感じられるかなと思いました。
- ・体験学習で使用した低融点金属自体、扱いやすい理由(溶けやすかったり、固まりやすかったりする理由)についても、生徒たちに伝えて、知ってほしかったです。
- ・生徒が学習後の感想で「古墳を見に行きたい。」と言っていてうれしかったです。
- ・石見地区だとなかなか経験(実際に見たり、体験したり)することが少ないように、自分の子供のことも含め、感じるがあります(ありました)。大人も含め、このような機会にたくさん出会えると良いなあと感じます。
- ・事前に(本校で対面の)打ち合わせをしていただけて安心でした。また、メールで細かいところまで伝えていただき、本当にたくさん準備していただきありがたかったです。教材も十分に準備していただきありがとうございました。私たち(教職員の皆さん)も実際に製作体験してみて、(生徒に)どのようにすればよいかを伝えやすかったです。来年度もぜひ行いたい内容でした。

### 3)埋文センターから

益田市教育委員会の協力が得られて、貴重な遺物である市内出土の三角縁神獣鏡を生徒の皆さんが実見できたことは、体験学習と相まって貴重な体験になったのではないのでしょうか。加えて、歴博所蔵の青銅鏡のレプリカを観察できたことで、より実感を持っていただけたと思います。

時間に余裕のないことが懸念されましたが、皆さんの頑張りによって金属鏡が完成できたのでとてもよかったです。

当方の座学の場面で、クイズ形式で何かするとか、もう一工夫するべきだったと反省しています。